様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　６年　　６月　２５日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　長崎県西海市崎戸町蛎浦郷1517番地3
氏　名　ダイヤソルト株式会社　崎戸工場
工場長　迎　俊則
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0959-35-2345

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ダイヤソルト株式会社　崎戸工場
事業場の所在地	長崎県西海市崎戸町蛎浦郷1517番地3
計画期間	令和6年4月1日　～　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	化学工場（塩・化成品製造業）
②事業の規模	資本金　250百万円　令和5年度製品出荷額　6,335百万円
③従業員数	208名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１、2フローシートの通り

（日本産業規格　Ａ列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

別紙３の通り</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
木くずに関してはパレットを木製からプラスチック製へ変更し減量化を図っている。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
前年度に同じ。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
燃え殻、廃プラスチック類、木くず、がれき類、使用済蛍光管、ガラス・陶磁器くず、紙くず、石綿含有廃棄物、混廃（紙・プラ・繊維くず等）、特別管理産業廃棄物</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
前年に同じ。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>燃え殻</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>１３６．２５ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>燃え殻</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>１３７．０１ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>別紙４の通り</td><td>別紙４の通り</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・燃え殻については委託業者にてコンクリート原料としてリサイクル。
・廃プラスチック類のうち、一部については委託業者にてリサイクル。
・木くずについては委託業者にてマテリアルリサイクル実施。
・使用済蛍光管については委託業者にて金属類・ガラス類を再資源化。</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙４の通り	別紙４の通り
		全処理委託量	別紙４の通り	別紙４の通り
		優良認定処理業者への処理委託量	別紙４の通り	別紙４の通り
		再生利用業者への処理委託量	別紙４の通り	別紙４の通り
		認定熱回収業者への処理委託量	別紙４の通り	別紙４の通り
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙４の通り	別紙４の通り
		（今後実施する予定の取組） これまでの実施と同じ。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

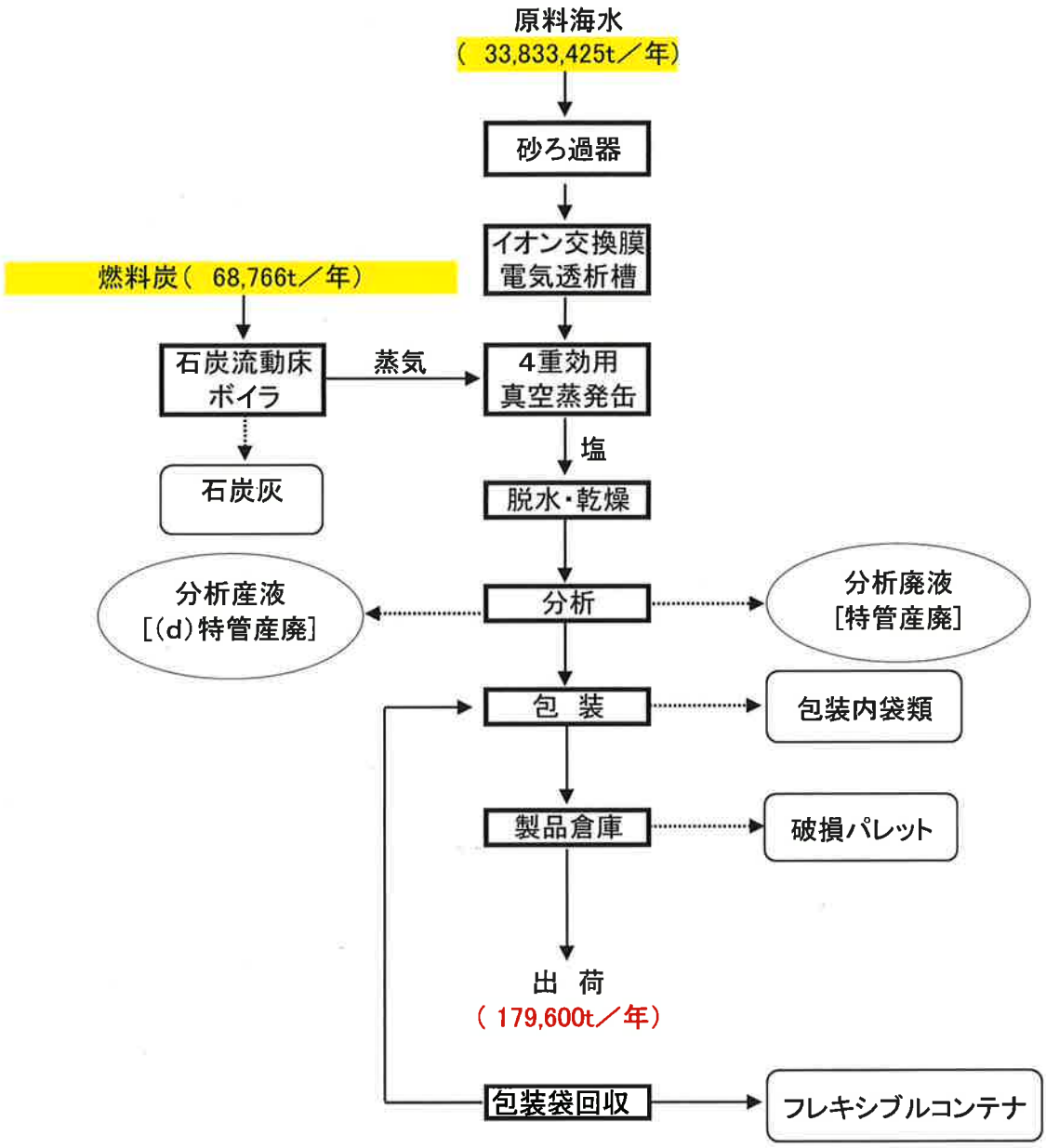
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

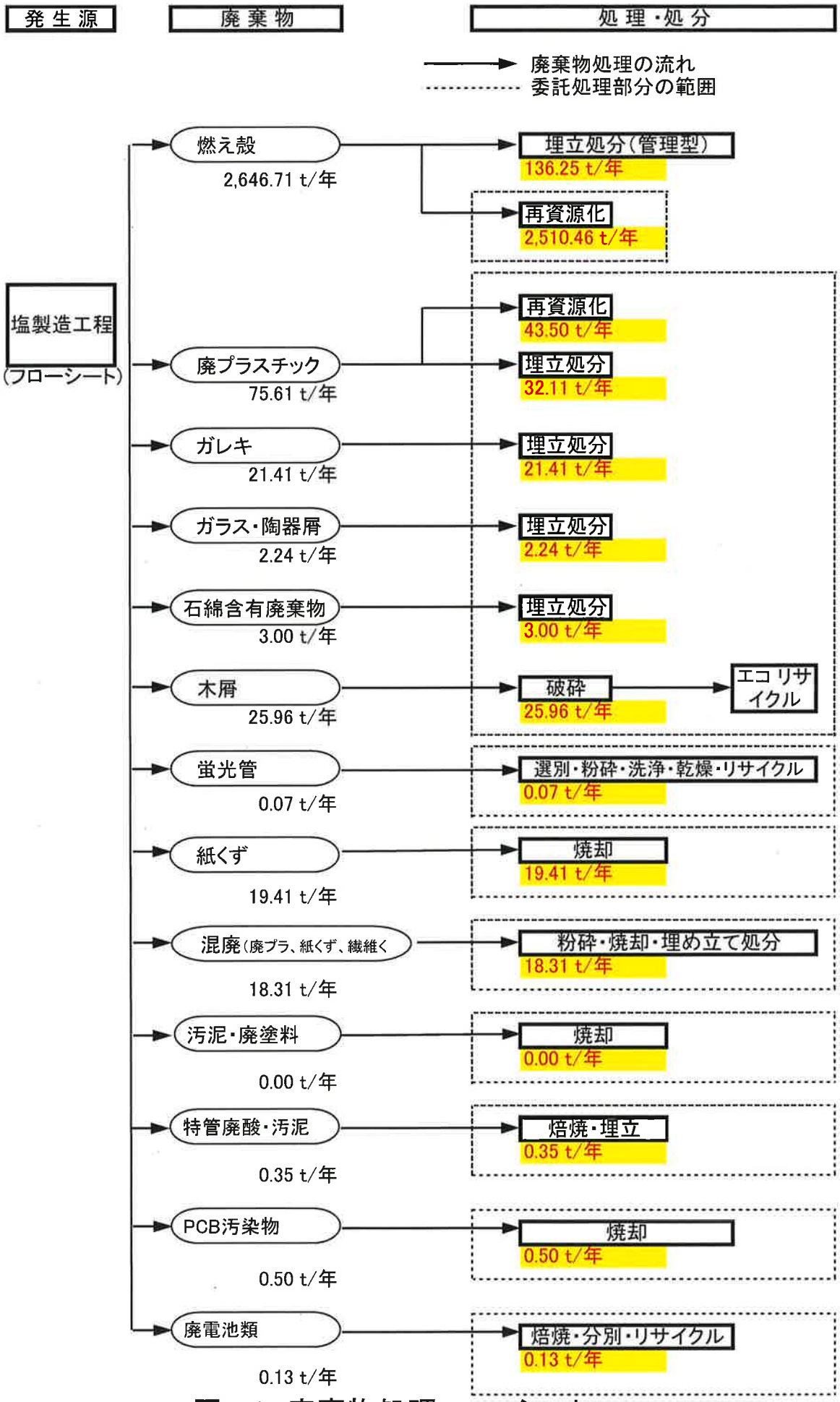
７　※欄は記入しないこと。

別紙―1



図－1　塩製造工程フローシート

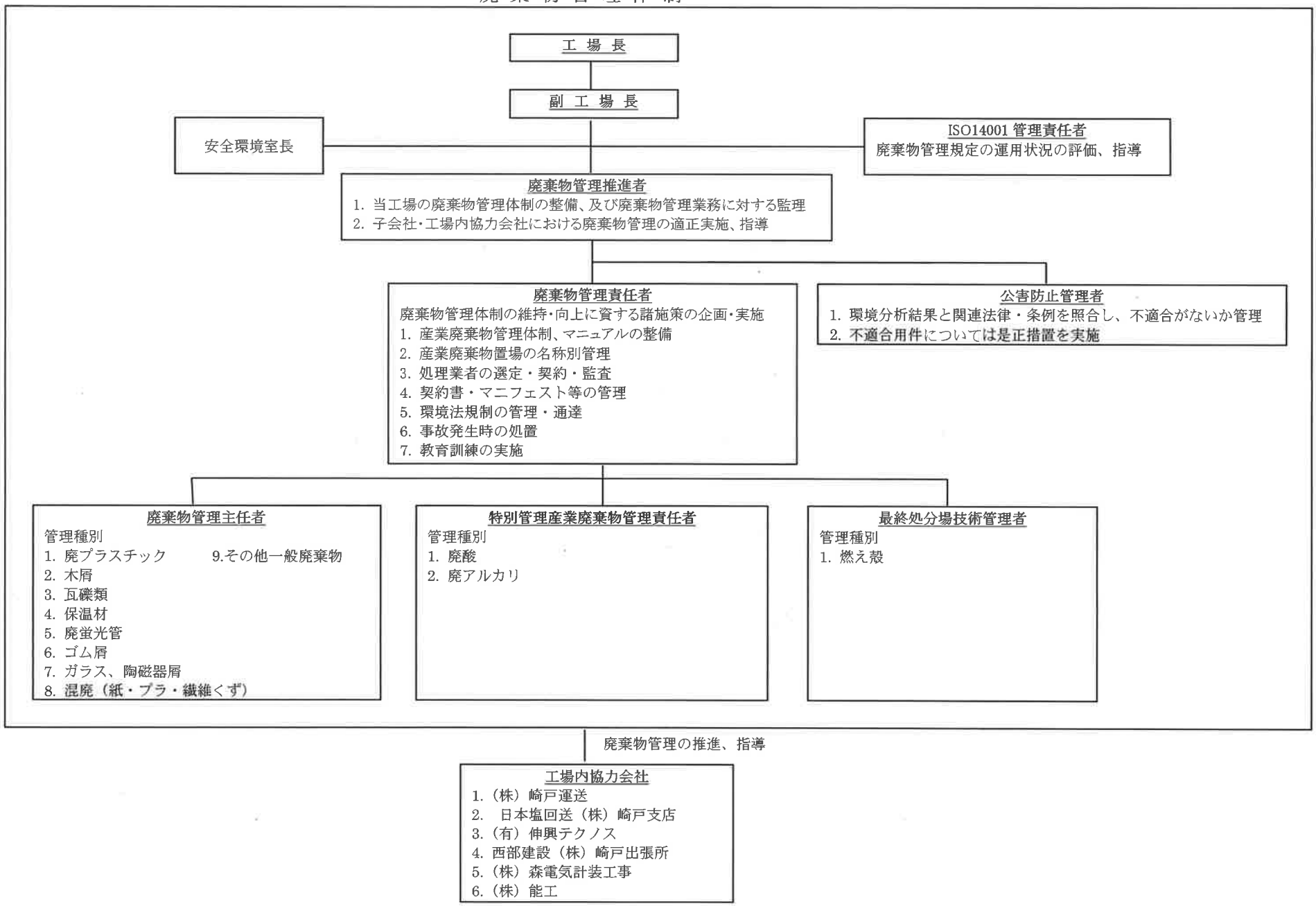
別紙—2



図－2　廃棄物処理フローシート

別紙－３

廃 棄 物 管 理 体 制


工 場 長
副 工 場 長
安全環境室長
ISO14001 管理責任者
廃棄物管理規定の運用状況の評価、指導
廃棄物管理推進者
1. 当工場の廃棄物管理体制の整備、及び廃棄物管理業務に対する監理
2. 子会社・工場内協力会社における廃棄物管理の適正実施、指導
廃棄物管理責任者
廃棄物管理体制の維持・向上に資する諸施策の企画・実施
1. 産業廃棄物管理体制、マニュアルの整備
2. 産業廃棄物置場の名称別管理
3. 処理業者の選定・契約・監査
4. 契約書・マニフェスト等の管理
5. 環境法規制の管理・通達
6. 事故発生時の処置
7. 教育訓練の実施
公害防止管理者
1. 環境分析結果と関連法律・条例を照合し、不適合がないか管理
2. 不適合用件については是正措置を実施
廃棄物管理主任者
管理種別
1. 廃プラスチック
2. 木屑
3. 瓦礫類
4. 保温材
5. 廃蛍光管
6. ゴム屑
7. ガラス、陶磁器屑
8. 混廃（紙・プラ・繊維くず）
9.その他一般廃棄物
特別管理産業廃棄物管理責任者
管理種別
1. 廃酸
2. 廃アルカリ
最終処分場技術管理者
管理種別
1. 燃え殻
廃棄物管理の推進、指導
工場内協力会社
1.（株）崎戸運送
2. 日本塩回送（株）崎戸支店
3.（有）伸興テクノス
4. 西部建設（株）崎戸出張所
5.（株）森電気計装工事
6.（株）能工

別紙－4

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	がれき	使用済蛍光管	ガラス・陶磁器くず	保温材	石綿含有廃棄物	紙くず	混廃（紙・プラ・繊維くず）	汚泥・廃塗料	廃電池類	特管汚泥・廃酸	PCB汚染物	合計
現状	排出量	2,646.71 t	75.61 t	25.96 t	21.41 t	0.07 t	2.24 t	1.37 t	1.63 t	19.41 t	18.31	0.00 t	0.13 t	0.35 t	0.50 t	2,813.70 t
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	がれき	使用済蛍光管	ガラス・陶磁器くず	保温材	石綿含有廃棄物	紙くず	混廃（紙・プラ・繊維くず）	汚泥・廃塗料	廃電池類	特管汚泥・廃酸	PCB汚染物	合計
計画	排出量	2,661.45 t	76.03 t	26.10 t	21.53 t	0.07 t	0.00 t	1.38 t	1.64 t	19.52 t	18.41 t	0.00 t	0.13 t	0.35 t	0.00 t	2,826.61 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	がれき	使用済蛍光管	ガラス・陶磁器くず	保温材	石綿含有廃棄物	紙くず	混廃（紙・プラ・繊維くず）	汚泥・廃塗料	廃電池類	特管汚泥・廃酸	PCB汚染物	合計
現状	全処理委託量	2,510.46 t	75.61 t	25.96 t	21.41 t	0.07 t	2.24 t	1.37 t	1.63 t	19.41 t	18.31 t	0.00 t	0.13 t	0.35 t	0.50 t	2,677.45 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,510.46 t	32.11 t	25.96 t	21.41 t	0.07 t	2.24 t	1.37 t	1.63 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.35 t	0.00 t	2,595.60 t
	再生利用業者への処理委託量	2,510.46 t	32.11 t	25.96 t	0.00 t	0.07 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2,568.60 t
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	がれき	使用済蛍光管	ガラス・陶磁器くず	保温材	石綿含有廃棄物	紙くず	混廃（紙・プラ・繊維くず）	汚泥・廃塗料	廃電池類	特管汚泥・廃酸	PCB汚染物	合計
計画	全処理委託量	2,524.44 t	76.03 t	26.10 t	21.53 t	0.07 t	2.25 t	1.38 t	1.64 t	19.52 t	18.41 t	0.00 t	0.13 t	0.35 t	0.00 t	2,691.85 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,524.44 t	32.29 t	26.10 t	21.53 t	0.07 t	2.25 t	1.38 t	1.64 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.35 t	0.00 t	2,610.05 t
	再生利用業者への処理委託量	2,524.44 t	32.29 t	26.10 t	0.00 t	0.07 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2,582.90 t
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

２０２４年　６月　１４日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　　長崎県長崎市西坂町２番３号
氏　名　　大和リース株式会社　長崎支店
支店長　正本　裕秋
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　０９５―８２２－０６００

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和リース株式会社　長崎支店
事業場の所在地	長崎県長崎市西坂町２番３号
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	売上高2,981百万円（長崎支店・2024年3月期）
③従業員数	17名（長崎支店・2024年3月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１のとおり

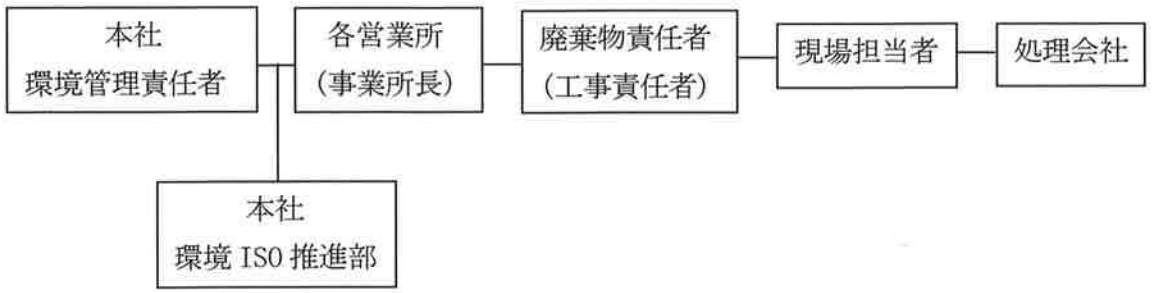
受付
－6.6.17
資源循環推進課

（日本産業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】別紙２のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物研修の実施 ・環境目標を設定し、施工面積あたりの産廃排出量を削減する 令和5年度目標：27.0kg/㎡以下　実績：32.6kg/㎡		
② 計画	【目標】別紙２のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後実施する予定の取組） ・資材のプレカット、分別を徹底する ・製品化された部材の導入を検討する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥・廃油・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・石膏ボード・ガラス陶磁器くず・コンがら・アスコンがら・その他がれき類・水銀灯・蛍光灯・安定型建設混合廃棄物・管理型建設混合廃棄物・管理型混合廃棄物・石綿含有廃棄物 ・再生利用等による減量化を含めた分別に努める ・再生率のより良い業者の選定
③ 計画	④　（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・再生率のより良い業者の選定

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】 別紙２のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・再生利用等による減量化を含めた分別に努める ・再生率のより良い業者の選定		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">② 計画</td><td colspan="3">【目標】別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

・再生率のより良い業者の選定</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

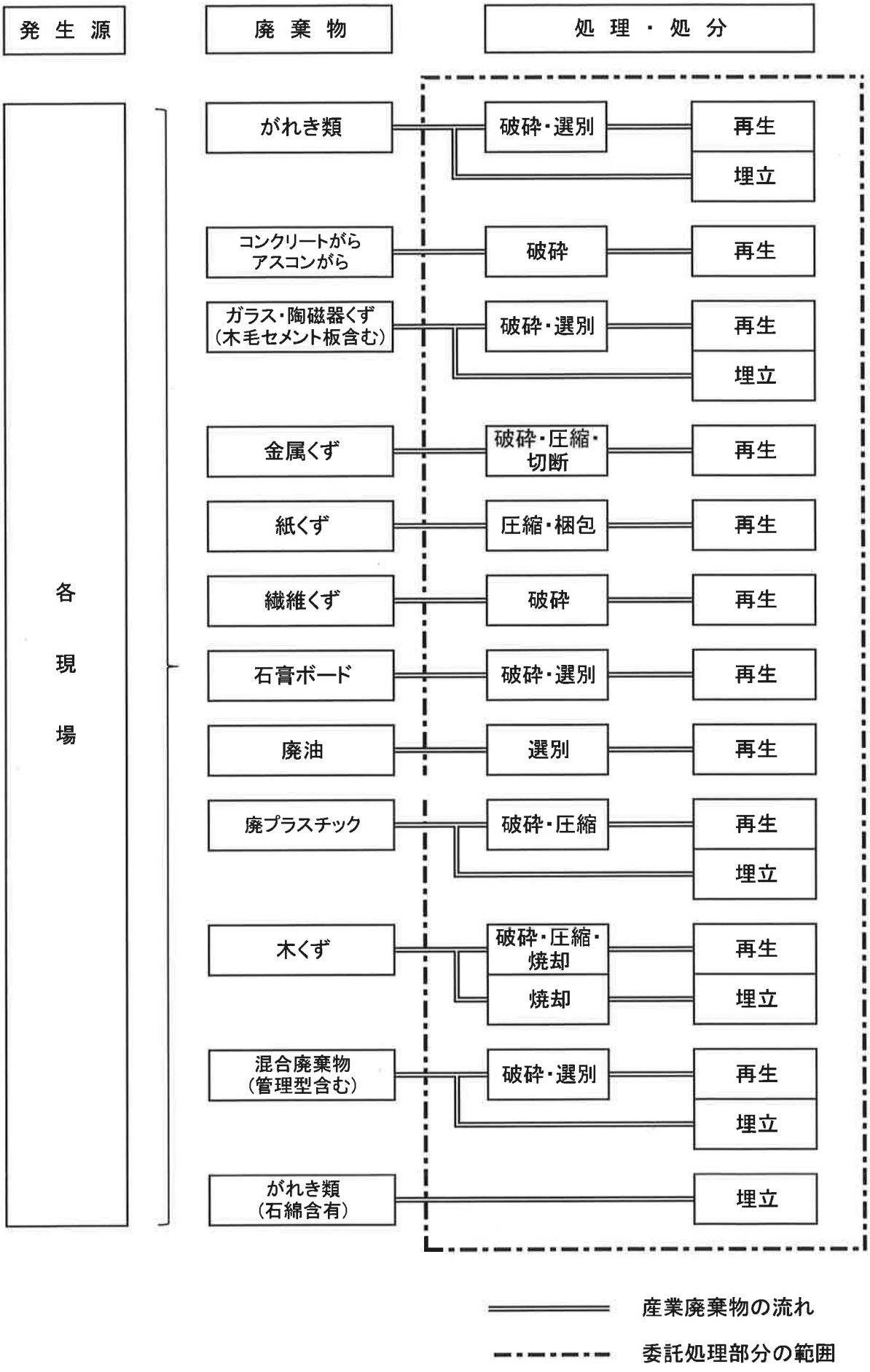
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程（別紙1）



産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙2）

R5年度実績

(t)

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき	管理型混合	石綿含有ガラス陶磁器くず	石綿含有プラスチック	水銀灯	蛍光灯	合計
全排出量	0.00	0.11	133.14	22.47	182.10	0.19	17.97	97.20	289.90	1230.17	1055.69	69.37	47.06	12.50	0.50	0.03	0.09	3158.5
全処理委託量	0.00	0.11	133.14	22.47	182.10	0.19	17.97	97.20	289.90	1230.17	1055.69	69.37	47.06	12.50	0.50	0.03	0.09	3158.5
優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.11	133.14	22.47	182.10	0.19	17.97	97.20	289.90	1230.17	1055.69	69.37	47.06	12.50	0.50	0.03	0.09	3158.5
再生利用業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0

R6年度目標

(t)

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき	管理型混合	石綿含有ガラス陶磁器くず	石綿含有プラスチック	水銀灯	蛍光灯	合計
全排出量	0.00	0.04	41.27	6.97	56.45	0.06	5.57	30.13	89.87	392.35	327.26	21.50	14.59	3.88	0.16	0.01	0.03	990.14
全処理委託量	0.00	0.04	41.27	6.97	56.45	0.06	5.57	30.13	89.87	392.35	327.26	21.50	14.59	3.88	0.16	0.01	0.03	990.14
優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.04	41.27	6.97	56.45	0.06	5.57	30.13	89.87	392.35	327.26	21.50	14.59	3.88	0.16	0.01	0.03	990.14
再生利用業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年６月２８日

長崎県知事　大石賢吾　殿

提出者
住　所　長崎県雲仙市小浜町南本町7番地22
氏　名　宅 島 建 設 株 式 会 社
代表取締役　宅 島 寿 孝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９５７－７５－０２２２

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	宅島建設株式会社
事業場の所在地	長崎県雲仙市小浜町南本町７番地２２
計画期間	令和６年４月１日　～　令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	０６　総合工事業
②事業の規模	売上高　４，６８７，０５６千円
③従業員数	１００人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木・建築・解体工事等 ①コンクリートがら アスファルトがら　→再生処理業に委託して、再生砕石として再資源化 ②木くず、金属くず　→50ｋｍ以内に再資源化施設が場合は、再資源化施設へ処理委託する

（日本工業規格　A列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

別紙１のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（５年度）実績】※別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
①　産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。
②　発生した産業廃棄物は自ら処理することを原則とし、処理業者に委託する場合であっても、収集運搬から処分に至るまで確認し的確に管理する。
③　最終処分量の削減、再生利用の拡大等について、数値目標及びその達成時期を定め実施する。また、これら処理に関する目標及び計画は、定期的に必要な見直しを行う。
④　廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施し、また、関連会社にも必要な指導を行う。
発生抑制　・発生抑制を考慮した施工方法を検討する。
再生利用　・作業所内及び他作業所での流用
・再資源化施設への処理委託
その他　　・処理業者と適正な委託契約を締結する。
⑤　マニュフェスト伝票の管理を徹底する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】※別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・木製型枠の使用抑制、鋼製型枠の使用推進
・プレカット材使用の制限
など</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・各作業所において、廃棄物の分別ボックスを設け分別の徹底を図る</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・分別ステッカーを作成し分別の必要性を認識させる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・特に実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】※別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

実施予定なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（５年度）実績】※別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・特に実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】※別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

実施予定なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
実施例なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】※別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
実施予定なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（５年度）実績】※別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】※別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">【今後実施する予定の取り組み】
・再生利用、熱回収が可能である廃棄物は、再生利用、熱回収ができる業者へ委託する
・可能な限り優良認定処理業者から選定する
※但し、再生利用業者への処理委託量以外については、数値目標を昨年度に引き続き定めない</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

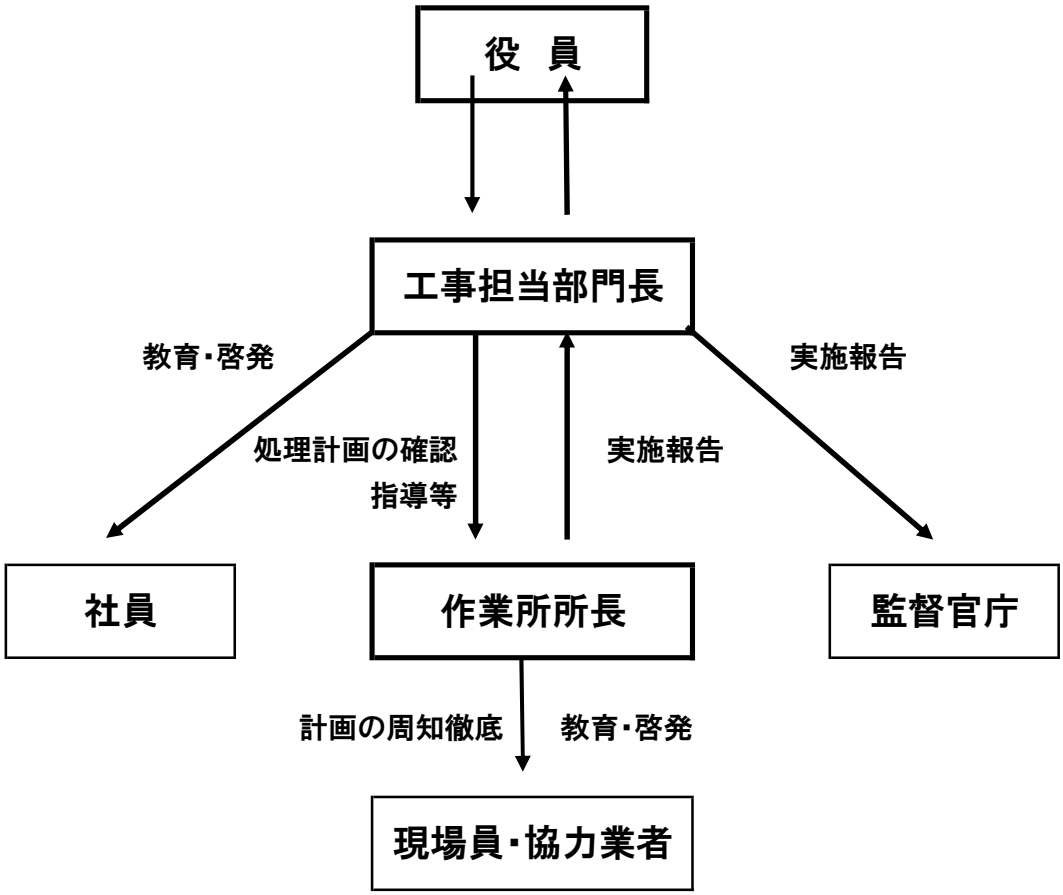
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙1

管理体制


役　員
工事担当部門長
教育・啓発
処理計画の確認
指導等
実施報告
実施報告
社員
作業所所長
監督官庁
計画の周知徹底
教育・啓発
現場員・協力業者

別紙2

産業廃棄物の種類	【令和5年度実績】						【令和6年度目標】					
	排出量	令和5年度全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	排出量	令和6年度全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
がれき類	4,619.7	4,619.7	123.5	4,522.0	0.0	0.0	4,000.0	4,000.0	500.0	3,500.0	0.0	0.0
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	129.8	129.8	31.2	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
木くず	1,079.6	1,079.6	0.0	1,079.6	0.0	0.0	800.0	800.0	0.0	800.0	0.0	0.0
汚泥	40.3	40.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
混合物	419.4	419.4	26.1	0.0	0.0	0.0	300.0	300.0	50.0	250.0	0.0	0.0
金属くず	84.6	84.6	0.0	84.5	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
紙くず	269.2	269.2	0.0	269.2	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
繊維くず	2.6	2.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	396.9	396.9	4.4	0.0	0.0	0.0	300.0	300.0	50.0	250.0	0.0	0.0
合　計	7,041.9	7,041.9	186.0	5,955.3	0.0	0.0	5,650.0	5,650.0	600.0	5,050.0	0.0	0.0

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年　6月　26日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　　長崎県長崎市古賀町867-1
氏　名　タマホーム株式会社　長崎支店
支店長　森山　英治
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　095-832-0248

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	タマホーム株式会社　　長崎支店
事業場の所在地	長崎県長崎市古賀町867-1
計画期間	令和5年4月1日　～　令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06　総合工事業
② 事業の規模	53億7638万円
③ 従業員数	67名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類→破砕→原燃料 木くず→破砕→燃料チップ・ボード・原燃料 安定型混廃→分別(金属、ガラス、陶器類)→破砕→埋立 管理型混廃→分別(木くず、紙くず、石膏)→破砕→埋立 がれき類→破砕(焼却)→再生路盤材(原燃料)

(日本産業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排　　出　　量	51.1ｔ	132.3ｔ
	（これまでに実施した取組） ・梱包材や養生材を削減 ・木材のプレカット化 ・配管類のユニット化 ・発生抑制に関する情報収集		
①計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排　　出　　量	49.6ｔ	128.3ｔ
	（今後実施する予定の取組） 上記に加え、下記の取組を実施予定 ・発生抑制の為の調達方法の工夫 ・工法の改善検討 ・梱包材の簡素化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・がれき類(コンクリート塊)、木材を分別 ・石膏ボードを分別
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記に加え、管理型処分産業廃棄物と安定型処分産業廃棄物に分別を実施予定 ・分別に関する情報収集

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

② 現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	安定型混廃	管理型混廃
排　　出　　量	37.7ｔ	831.2ｔ

（これまでに実施した取組）
第2面-1の①現状記載同様

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	安定型混廃	管理型混廃
排　　出　　量	36.6ｔ	806.2ｔ

（今後実施する予定の取組）
第2面-1の産業廃棄物の排出の抑制に関する事項①計画記載同様

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
第2面-1の産業廃棄物の分別に関する事項①現状記載同様

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
第2面-1の産業廃棄物の分別に関する事項②計画記載同様

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

③ 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排　　出　　量	79.9ｔ	
	（これまでに実施した取組） 第2面-1の①現状記載同様		
③計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排　　出　　量	77.5ｔ	
	（今後実施する予定の取組） 第2面-1の産業廃棄物の排出の抑制に関する事項①計画記載同様		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 第2面-1の産業廃棄物の分別に関する事項①現状記載同様
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 第2面-1の産業廃棄物の分別に関する事項②計画記載同様

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	51.1 t	132.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	35.8 t	132.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

② 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	安定型混廃	管理型混廃
	全処理委託量	37.7 t	831.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	17 t	332.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

③　現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
③計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

③　現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	79.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施		

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">①計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>49.6ｔ</td><td>128.3ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>2.5ｔ</td><td>6.4ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>39.7ｔ</td><td>128.3ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・可能な限り優良認定処理業者から選定する
・再生処理を中心とした産業廃棄物処理業者の選定を促進する
・委託処分事業者の現地確認を実施する
・委託業者任せにせず、性情等を把握する</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>管理型混廃</td><td>安定型混廃</td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>36.6ｔ</td><td>806.2ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>1.8ｔ</td><td>40.3ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>20.1ｔ</td><td>403.1ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
第5面-1の①計画の今後実施する予定の取組記載同様</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>③計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全 処 理 委 託 量</td><td>77.5ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>3.9ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>7.8ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
第5面-1の①計画の今後実施する予定の取組記載同様</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

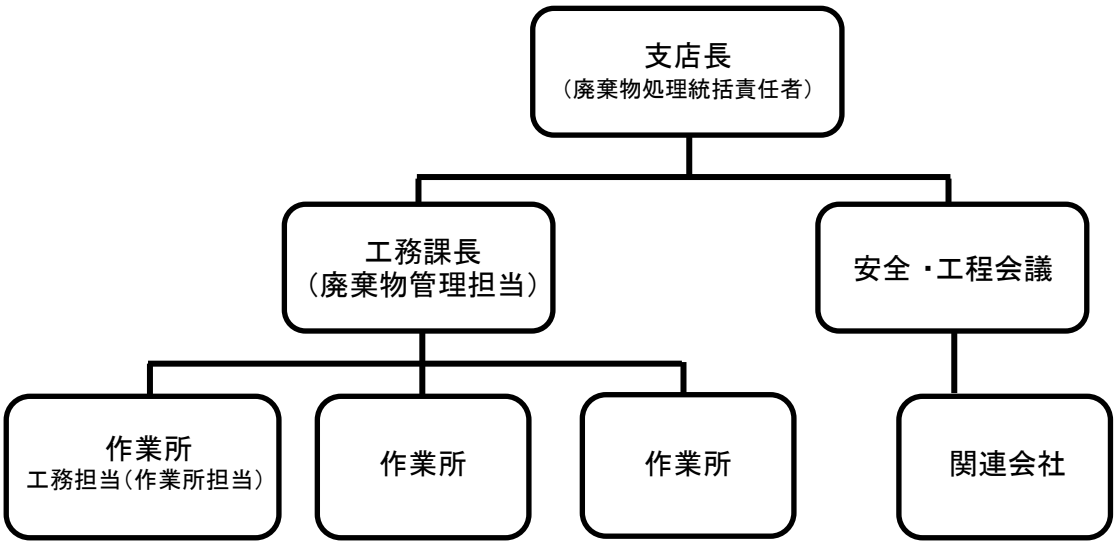
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		所属 ： 長崎支店	職・氏名 ： 支店長 森山 英治
廃棄物担当者		組織名 ： 長崎支店工務課	組織人数 ： 11名
役割	支店長 （廃棄物処理統括責任者）	○破棄物処理方針 ○破棄物処理に関する各種事項の決定 ○廃棄物処理に関する各種事項の承認 ○廃棄物処理計画の管理 ○委託契約の締結管理	
	工程安全委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。	
	工務責任者 （廃棄物管理担当者）	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と維持管理状況の把握 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項	
	作業所 工務担当 （作業所担当）	○廃棄物管理状況の把握 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○その他関係する事項	

廃棄物管理組織図



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年５月１４日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　西彼杵郡時津町浦郷２７４番地１
氏　名　時津町長　山　上　広　信
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９５－８８２－２２１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	時津町　子々川浄水場
事業場の所在地	西彼杵郡時津町子々川郷１７４０番地
計画期間	令和　６年　４月　１日　～　令和　７年　３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

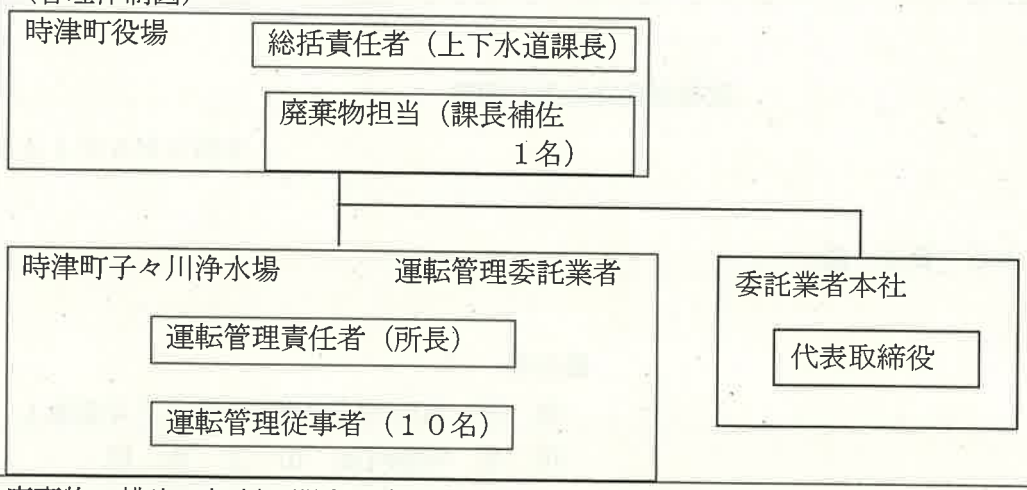
①事業の種類	上水道事業（浄水場）
②事業の規模	浄水量（取水量）８，２８４㎥／日（平均）
③従業員数	浄水場従事職員　１０名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	浄水場処理工程： 取水→子々川浄水場着水→沈澱池→排泥池→濃縮槽→貯留槽→天日乾燥床（汚泥脱水及び乾燥） 汚泥搬出及び処理委託 天日乾燥床処理後委託業者へ汚泥搬出→中間処理→運搬→最終処分

受付
－6.5.16
資源循環推進課

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	排　出　量	１５８０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 上水汚泥の元となる濁度の高い原水の取水を抑制し、濁度が低い原水を取水し排出の抑制に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	排　出　量	１３６９ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 今後も従来同様に濁度が低い原水を優先的に取水し、減量化に努めたい。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>１３９９ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
天日乾燥工程において、効率がよい夏場に多くの搬出させ、全体量の減量化を図った。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>１１２８ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も上水汚泥の天日乾燥減量化は、冬季については汚泥含水率が低下しないことから、乾燥期間を夏場に重点的にシフトするように運転管理の調整を実施する</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	全処理委託量	１８１t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	１８１t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>２４１ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>２４１ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
効率的な固液分離によって、天日乾燥汚泥の含水率を低下させ、委託処分量の減量化に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年５月１４日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　西彼杵郡時津町浦郷２７４番地１

氏　名　時津町長　山　上　広　信
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号０９５－８８２－２５３８（直通）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	時津浄化センター
事業場の所在地	西彼杵郡時津町久留里郷１４４１番地
計画期間	令和６年４月１日～　令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	下水処理場
②事業の規模	流入水量　９，２４０㎥/日（平均）　＊Ⅰ-1
③従業員数	浄化センター従事職員１５名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

受付
－6.5.16
資源循環推進課

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

時津町役場　総括責任者（上下水道課長）

廃棄物担当（係長　１名）

時津浄化センター　運転管理委託業者

運転操作責任者（所長）

運転操作担当者（技術担当者）

委託業者本社

代表取締役

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	
排　出　量	１７７，８６１ｔ	＊Ｉ-2　ｔ

（これまでに実施した取組）

初沈汚泥は重力濃縮、余剰汚泥は機械濃縮を行いそれぞれの汚泥の濃縮濃度を上げ減量化に努めた。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	
排　出　量	１７７，９９４ｔ	＊Ｉ-3　ｔ

（今後実施する予定の取組）

流入水量もやや安定してきているなか、今後も前年度同様にさらなる減量化に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	１７５，８８３ｔ	＊Ⅰ-4　t
	（これまでに実施した取組） 濃縮性が高い薬品を使用し減量化に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	１７６，０１４ｔ	＊Ⅰ-5　t
	（今後実施する予定の取組） 今後も前年度同様に減量化に努める。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
	全処理委託量	１，９７８ｔ	＊Ⅰ-6　t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	１，９７８ｔ	＊Ⅰ-6　t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 収集処分まで的確に確認し管理を行った。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	１，９７９ｔ	＊Ｉ-7　ｔ
		優良認定処理業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		再生利用業者への処理委託量	１，９７９ｔ	＊Ｉ-7　ｔ
		認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		（今後実施する予定の取組） 施設の改築更新を計画的に進めるなか、脱水設備等の適切な管理によって、少しでも最終委託量を減量化できるよう努めたい。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年　6月　18日

長崎県知事　　大石　賢吾　殿

提出者　〒850-8685
住　所　長崎市魚の町4-1
氏　名　長崎市上下水道事業管理者
　　上下水道局長　片江　伸一郎
(担当：浄水課浄水施設係 TEL 095-829-1213)

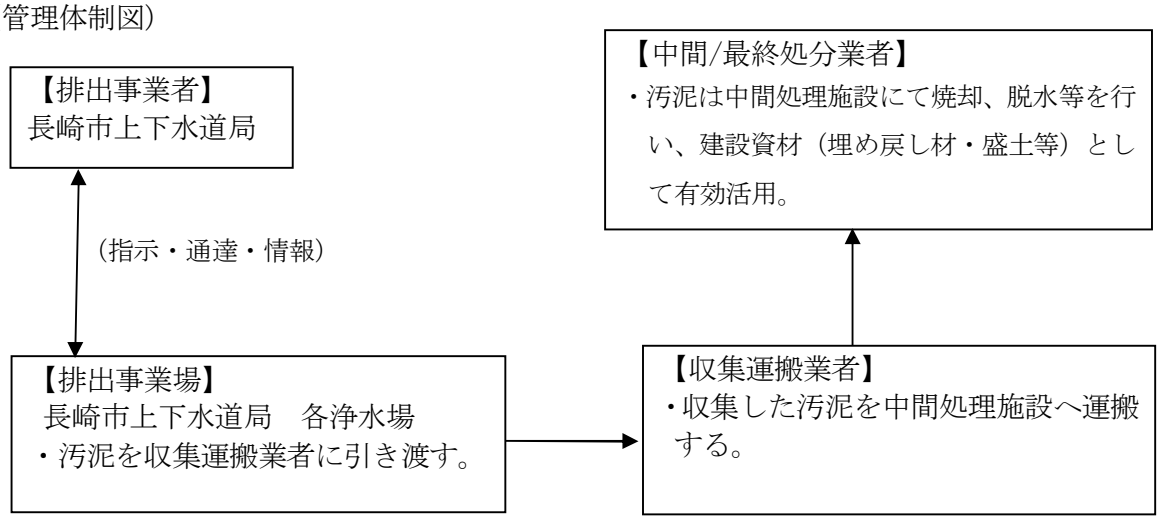
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	道ノ尾浄水場
事業場の所在地	西彼杵郡長与町高田郷38番地
計画期間	令和6年 4月 ～ 令和7年 3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	水道事業
②事業の規模	令和５年度 道ノ尾浄水場配水量実績　3,857,840㎥
③従業員数	上下水道局職員数 約260名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	1.浄水工程のうち沈澱池・ろ過池等の洗浄時に発生した排水スラッジを天日乾燥して生成する。 2.天日乾燥床より収集し、中間処理施設まで運搬。(委託) 3.中間処理施設にて脱水処理を行う。(委託) 4.建設資材（埋め戻し材・盛土等）として有効活用。

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



※1　収集運搬、中間/最終処分業者と委託契約。

※2　電子マニフェストにより処理状況を確認。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①　現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（浄水）	
	排　　出　　量	1,496ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 当局の浄水場から発生する浄水汚泥に対して直接的な抑制策は講じていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（浄水）	
	排　　出　　量	1,500ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 浄水工程により発生する汚泥のみである。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 浄水工程により発生する汚泥のみである。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>1,407 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
直接的な抑制策は講じていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>1,410 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特に無し。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>89 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>89 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
中間処理施設にて焼却、脱水等を行い、建設資材（埋め戻し材・盛土等）として有効活用。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>90ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>90ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
中間処理施設にて焼却、脱水等を行い、建設資材（埋め戻し材・盛土等）として有効活用。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

【添付資料】

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　５月　２７日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者

住　所　　長崎県諫早市栄田町21－22

氏　名　　長崎ブロイラー産業株式会社
代表取締役　池松　和彦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0957－25－1400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	長崎ブロイラー産業株式会社
事業場の所在地	長崎県諫早市栄田町21－22
計画期間	令和5年　4月　～　令和6年　3月まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	09　食料品製造業
②事業の規模	121億6千万円　製造品出荷額前年度実績
③従業員数	320名　令和6年3月末現在
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添図－１

（日本工業規格　A列４番）

受付
R5.5.30
資源循環推進課

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制

別添図－2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　　令和5　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり	別紙のとおり
	（これまでに実施した取組） １.汚泥については、排水処理槽の脱窒素処理で、表面浮上した高濃度汚泥の回収を行い、汚泥脱水機で脱水することで、余剰発生量を抑制。又、脱水の際に使用する高分子凝集剤の適正な選定で、脱水汚泥の含水率が上がらないように調整している。 ２.廃アルカリ（鶏の血液）は、直接専用容器に回収し、その際に洗浄水が入らないようにしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり	別紙のとおり
	（今後実施する予定の取組） 1.排水処理により発生する余剰汚泥を抑える為、原水加圧浮上槽に最終曝気槽の活性化した、曝気槽汚泥水を一部入れ高分子凝集剤と混合して加圧浮上除去し、原水負荷を下げて汚泥の発生量を抑制する。 ２.廃アルカリ（鶏の血液）は、直接専用容器に回収し、その際に洗浄水が入らないように徹底を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ２.廃アルカリ（鶏の血液）は、直接専用容器に回収し、その際に洗浄水が入らないようにしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ２.廃アルカリ（鶏の血液）は、直接専用容器に回収し、その際に洗浄水が入らないように徹底を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　　－年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　　令和5　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	－　t

（これまでに実施した取組）

排水処理施設の汚泥については、余剰汚泥脱水に使用する高分子凝集剤の適正な選定で、脱水汚泥の含水率が上がらないように調整している。（排水処理施設より発生する汚泥についてはコンサルタント業者を入れて改善取組中。）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	－　t

（今後実施する予定の取組）

１．　排水処理施設の汚泥については、余剰汚泥脱水に使用する高分子凝集剤の適正な選定で、脱水汚泥の含水率が上がらないように調整する。（排水処理施設より発生する汚泥についてはコンサルタント業者を入れて改善に引き続き取組む。）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　－年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　　令和5　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	－ｔ	－ｔ
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	－ｔ	－ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ｔ	－ｔ
	（これまでに実施した取組） １.自社脱水機により脱水された汚泥（脱水汚泥）は委託処理業者に委託し、全量肥料化され再生利用されている。 ２.鶏の屠殺処理工程から発生する、廃アルカリ（鶏の血液）は、委託処理業者により、全量肥料化され再生利用されている。		

<table>
<tr><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="3">
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）

１．自社脱水機により脱水された汚泥（脱水汚泥）は処理業者に処理委託を継続する。（委託先で全量肥料化され再利用される。）

２．工場の屠殺放血処理工程から発生する廃アルカリ（鶏の血液）は、回収ピットよりポンプアップで専用容器に回収され、委託処理業者に委託を継続する。　　（委託先で全量肥料化され再利用される。）
</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

別紙

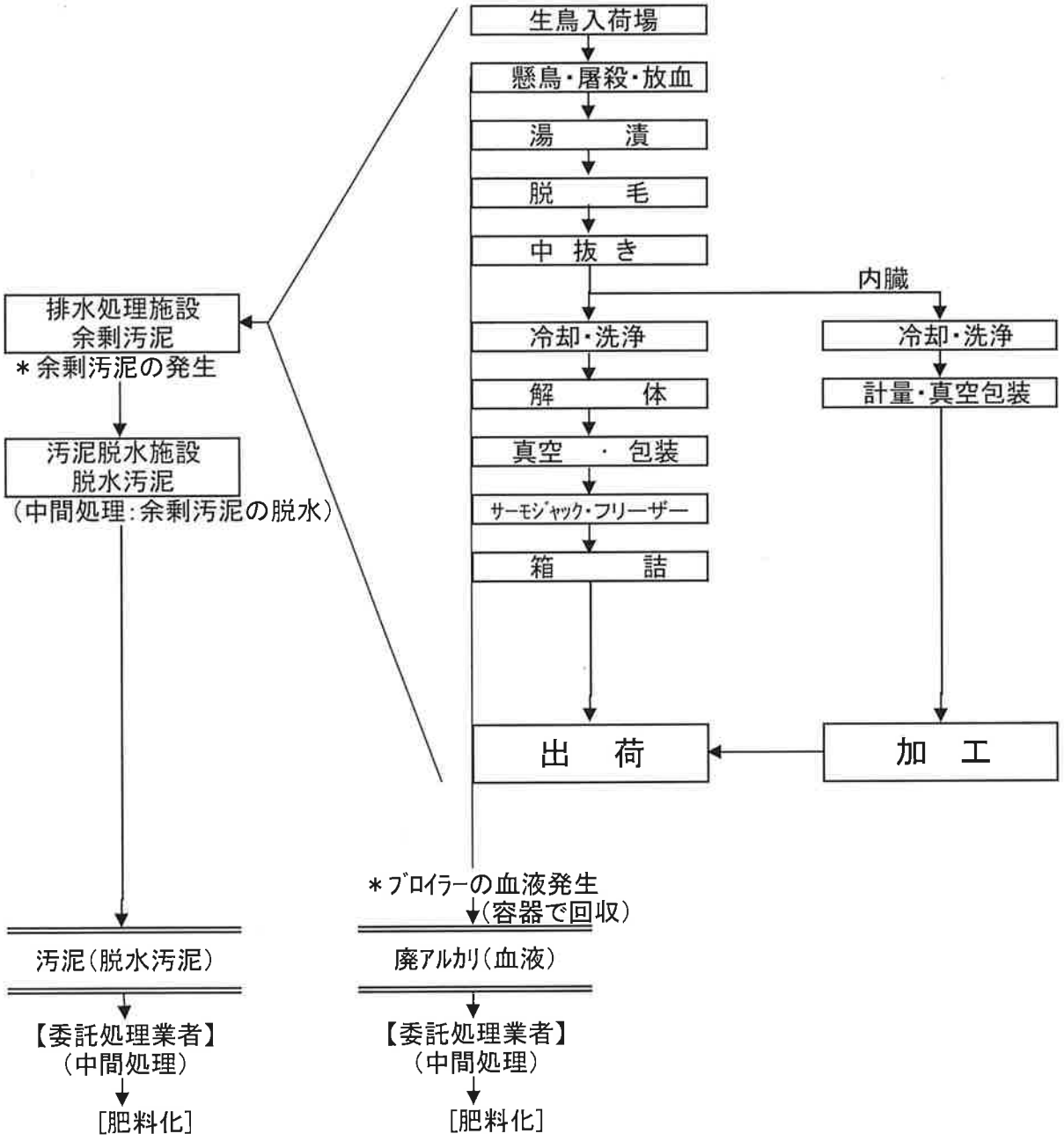
産業廃棄物処理計画実施状況

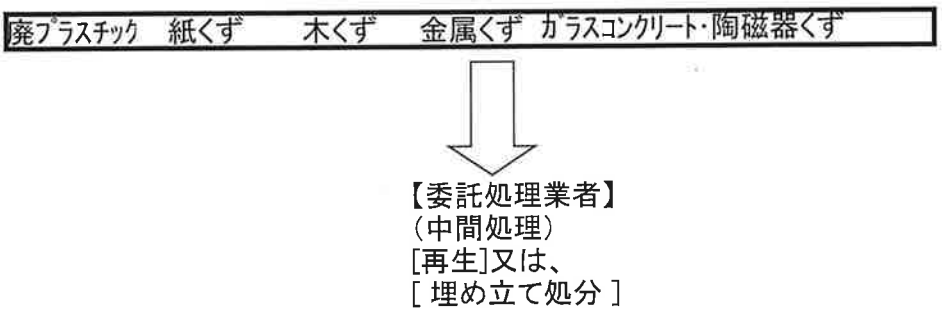
（単位：t）

廃棄物の種類	現状／計画	排出量	自己中間処理量	自己中間処理減量化量	自己中間処理後の残さ量	全量委託量	再生利用業者への処理委託量
汚泥	現状	16,350	16,341	15,153	1,188	1,197	1,197
	計画	15,000	15,000	14,000	1,000	1,000	1,000
廃アルカリ	現状	1,386				1,386	1,386
	計画	1,100				1,100	1,100
廃プラスチック	現状	5.775				5.775	
	計画	5.000				5.000	
木くず	現状	5.225				5.225	
	計画	3.000				3.000	
金属くず	現状	11.387				11.387	
	計画	7.000				7.000	
ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器く	現状	1.516				1.516	
	計画	0.100				0.100	
廃油	現状	0				0	
	計画	0.400				0.400	
動植物性残さ	現状	8.300				8.300	
	計画	0.000				0.000	
総合計	現状	17,767.7	16,341	15,153	1,188	2,606.9	2,583
	計画	16,115.5	15,000	14,000	1,000	2,115.5	2,100

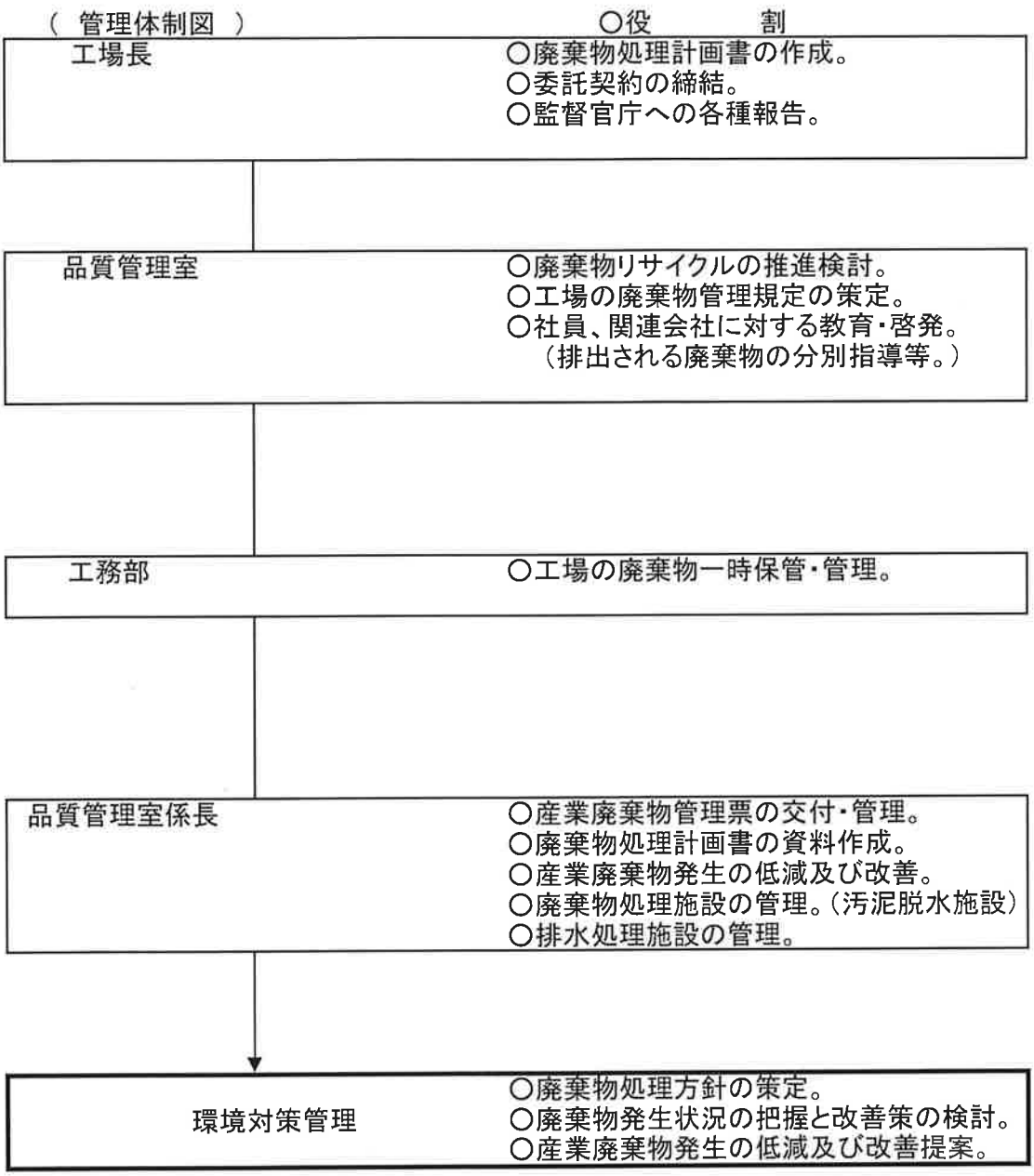
産業廃棄物の発生から処理工程

別添図－1





産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項　　別添図－２



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月17日

長崎県知事 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市中央区薬院１－１４－５

氏 名 西松建設株式会社九州支社

常務執行役員支社長 吉田 卓生

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 ０９２－７７１－４１２４（担当：浦吉）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

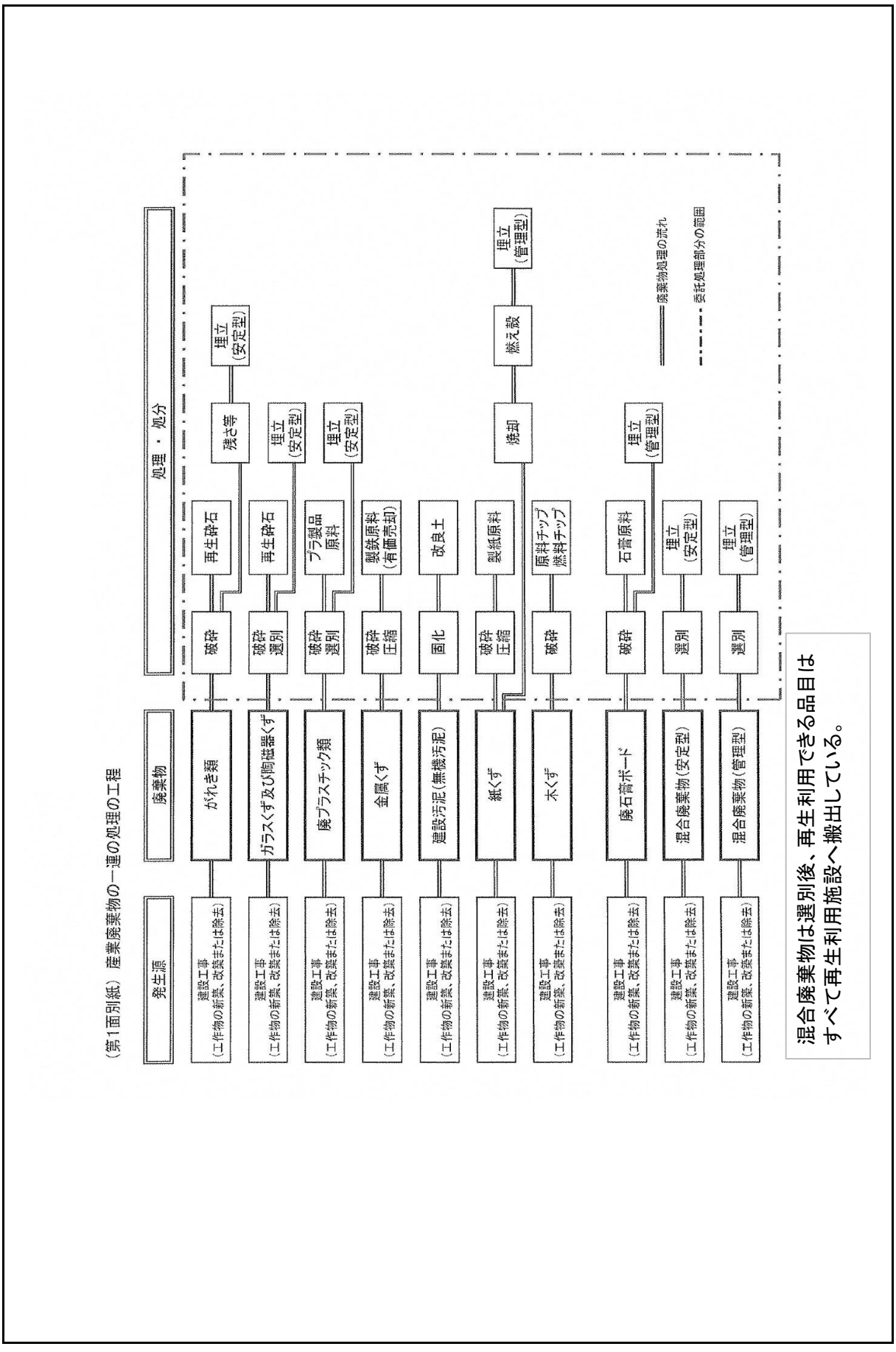
事業場の名称	西松建設株式会社 九州支社
事業場の所在地	福岡県福岡市中央区薬院１－１４－５
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

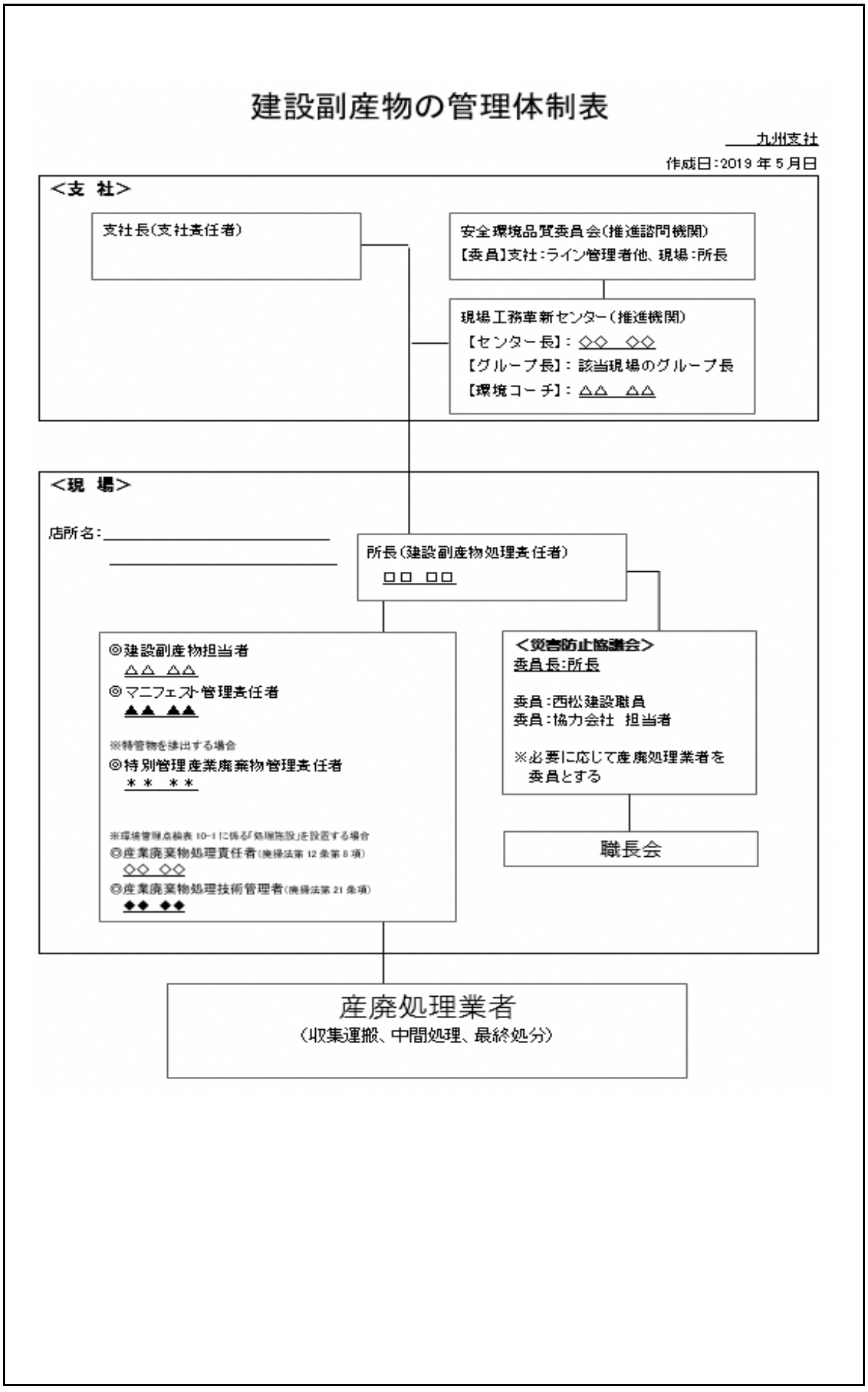
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	3,362億円（全社）
③従業員数	2,762人（全社）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１ 処理工程図のとおり

（日本産業規格 A列4番）

別添１ 処理工程図


（第1面別紙）産業廃棄物の一連の処理の工程
発生源
廃棄物
処理・処分
建設工事（工作物の新築、改築または除去）
がれき類
破砕
再生砕石
残さ等
埋立（安定型）
ガラスくず及び陶磁器くず
破砕選別
再生砕石
埋立（安定型）
廃プラスチック類
破砕選別
プラ製品原料
埋立（安定型）
金属くず
破砕圧縮
製鉄原料（有価売却）
建設汚泥（無機汚泥）
固化
改良土
紙くず
破砕圧縮
製紙原料
焼却
燃え殻
埋立（管理型）
木くず
破砕
原料チップ燃料チップ
廃石膏ボード
破砕
石膏原料
埋立（管理型）
混合廃棄物（安定型）
選別
埋立（安定型）
混合廃棄物（管理型）
選別
埋立（管理型）
廃棄物処理の流れ
委託処理部分の範囲
混合廃棄物は選別後、再生利用できる品目はすべて再生利用施設へ搬出している。

別添２ 管理体制図


建設副産物の管理体制表
九州支社
作成日:2019 年 5月日
＜支 社＞
支社長(支社責任者)
安全環境品質委員会(推進諮問機関)
【委員】支社:ライン管理者他、現場:所長
現場工務革新センター(推進機関)
【センター長】: ◇◇ ◇◇
【グループ長】: 該当現場のグループ長
【環境コーチ】: △△ △△
＜現 場＞
店所名:
所長(建設副産物処理責任者)
□□ □□
◎建設副産物担当者
△△ △△
◎マニフェスト管理責任者
▲▲ ▲▲
※特管物を排出する場合
◎特別管理産業廃棄物管理責任者
＊＊ ＊＊
※環境管理計画書 10-1 に係る「処理施設」を設置する場合
◎産業廃棄物処理責任者(廃掃法第 12 条第 8 項)
◇◇ ◇◇
◎産業廃棄物処理技術管理者(廃掃法第 21 条項)
◆◆ ◆◆
＜災害防止協議会＞
委員長:所長
委員:西松建設職員
委員:協力会社 担当者
※必要に応じて産廃処理業者を
委員とする
職長会
産廃処理業者
(収集運搬、中間処理、最終処分)

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状：前年度（令和5年度）実績量
計画：今年度（令和6年度）計画量（目標）

単位：トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排出量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	92.40	83.16	―	―	―	―	―	―	―	―	92.40	83.16	92.40	83.16	92.40	83.16	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	4.74	4.27	―	―	―	―	―	―	―	―	4.74	4.27	0.00	0.00	4.74	4.27	0.00	0.00	0.00	0.00
廃アルカリ	4.26	3.83	―	―	―	―	―	―	―	―	4.26	3.83	0.00	0.00	4.26	3.83	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	40.25	36.23	―	―	―	―	―	―	―	―	40.25	36.23	40.25	36.23	40.25	36.23	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	12.30	11.07	―	―	―	―	―	―	―	―	12.30	11.07	12.30	11.07	12.30	11.07	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	278.69	250.82	―	―	―	―	―	―	―	―	278.69	250.82	228.53	205.68	118.91	107.02	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	915.39	823.85	―	―	―	―	―	―	―	―	915.39	823.85	915.39	823.85	915.39	823.85	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	374.32	336.89	―	―	―	―	―	―	―	―	374.32	336.89	374.32	336.89	374.32	336.89	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物（管理型）	4.68	4.21	―	―	―	―	―	―	―	―	4.68	4.21	4.68	4.21	4.68	4.21	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1,727.03	1,554.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,727.03	1,554.33	1,667.87	1,501.09	1,567.25	1,410.53	0.00	0.00	0.00	0.00

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2024年　6月　25日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　大村市富の原1丁目1557番地1
氏　名　㈱ニチレイフーズ　長崎工場
工場長　岩田　欣也
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0957-55-8685

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	㈱ニチレイフーズ　長崎工場
事業場の所在地	大村市富の原1丁目1557番地1
計画期間	2024年4月　～　2025年3月（１年間）

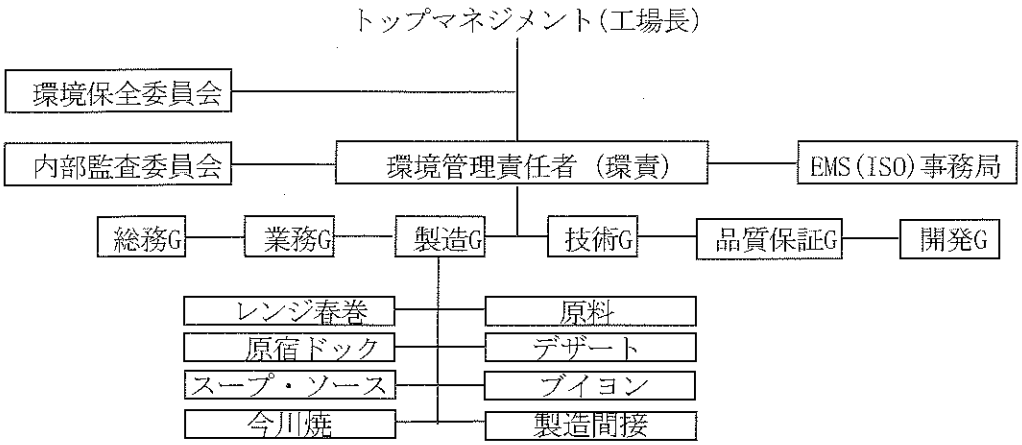
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	冷凍調理食品製造業
②事業の規模	5,484,786（千円）
③従業員数	295名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
排　出　量	別紙のとおり　t	—　t

（これまでに実施した取組）

歩留りの向上、製品落下の削減等の取組みを実施中。
廃棄物残渣の飼料化検討

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
排　出　量	別紙のとおり　t	—　t

（今後実施する予定の取組）

更なる歩留りの向上、製品落下の削減等の取組みを実施。
排出現場での、より一層の分別の実施。
廃棄物残渣の飼料の推進
廃棄物の有価物化の推進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

種類毎に、専用容器にて分別保管を実施中。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

都度見直しを行ない、種類毎に、専用容器にて分別保管を実施。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	別紙のとおり t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物処理委託先の現地確認。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>―</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>別紙のとおり　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物処理委託先の現地確認。
認定業者の情報収集。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理フローシート

2024年6月25日

産業廃棄物処理計画書内訳(24年度目標値)

別紙

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量②	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量④	全委託量(①−(②+③+④))	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
動植物性残さ	1389.44	0	0	0	1389.44	0	498.43	0	891.01
汚泥	316.37	0	0	0	316.37	0	314.78	0	1.59
廃プラスチック類	96.88	0	0	0	96.88	0	18.98	0	77.89
混合廃棄物	0.13	0	0	0	0.13	0	0.13	0	0.01
廃油	0.10	0	0	0	0.10	0	0.00	0	0.10
合 計	1802.92	0	0	0	1802.92	0	832.32	0	970.60

産業廃棄物処理計画書内訳(前年度(2023年度)実績)

別紙

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量②	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量④	全委託量 (①−(②+③+④))	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
動植物性残さ	1152.33	0	0	0	1,152.33	0	383.88	0	768.45
汚泥	288.94	0	0	0	288.94	0	288.94	0	0.00
廃プラスチック類	144.86	0	0	0	144.86	0	20.95	0	123.91
混合廃棄物	2.42	0	0	0	2.420	0	2.42	0	0.000
廃油	0.14	0	0	0	0.14	0	0.00	0	0.14
合 計	1588.69	0	0	0	1588.69	0	696.19	0	892.50

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6年　6月　21日

長崎県知事　大石 賢吾　殿

提出者
住　所　長崎県諫早市船越町７００
氏　名　日本ハム株式会社　諫早プラント
工場長　　金山　幸子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９５７－２２－１３４６

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本ハム株式会社　諫早プラント
事業場の所在地	長崎県諫早市船越町７００
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	約２８，０１９ｔ（令和５年度製造数量）
③従業員数	９８０名（令和６年４月１日現在、協力会社従業員含む）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	当工場の各製造工程より、動植物性残渣・廃プラスチック・金属くず、排水処理より汚泥が発生する。これらは産業廃棄物収集運搬業及び処分業の許可を持つ専門業者と廃棄物委託処理契約を締結し、適切に処理している。

（日本工業規格　A列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

※別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
製造ラインでの落下物・不良の発生抑制。
廃棄物から有価物への分別強化。
排水処理施設での水質安定化及び加圧浮上槽での運転改善による余剰汚泥発生量の抑制。含水率の低減。
有価物への分別強化による不燃廃棄物の削減。
製造工程見直しによる廃棄物の削減。
商品設計見直しによる廃棄物の削減。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き上記取組を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
動植物性残渣、廃プラスチック、廃油、金属くず、不燃廃棄物、汚泥、専用容器を設置し分別保管している。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
不燃廃棄物をさらに分別し、有価物化していく。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
製造工程見直しによる廃棄物削減。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き上記取組を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
排水処理施設での前処理工程油分回収率向上や水質安定化及び加圧浮上槽での運転管理強化による余剰汚泥発生の削減と共に、脱水汚泥の含水率管理を継続していく。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き上記取組を継続する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
分別管理強化し有価物へ変更することにより、廃棄物処理委託量の削減。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">全処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
廃棄物の有価化推進。
引き続き優良認定処理業者への業者変更も進めていく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の6月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

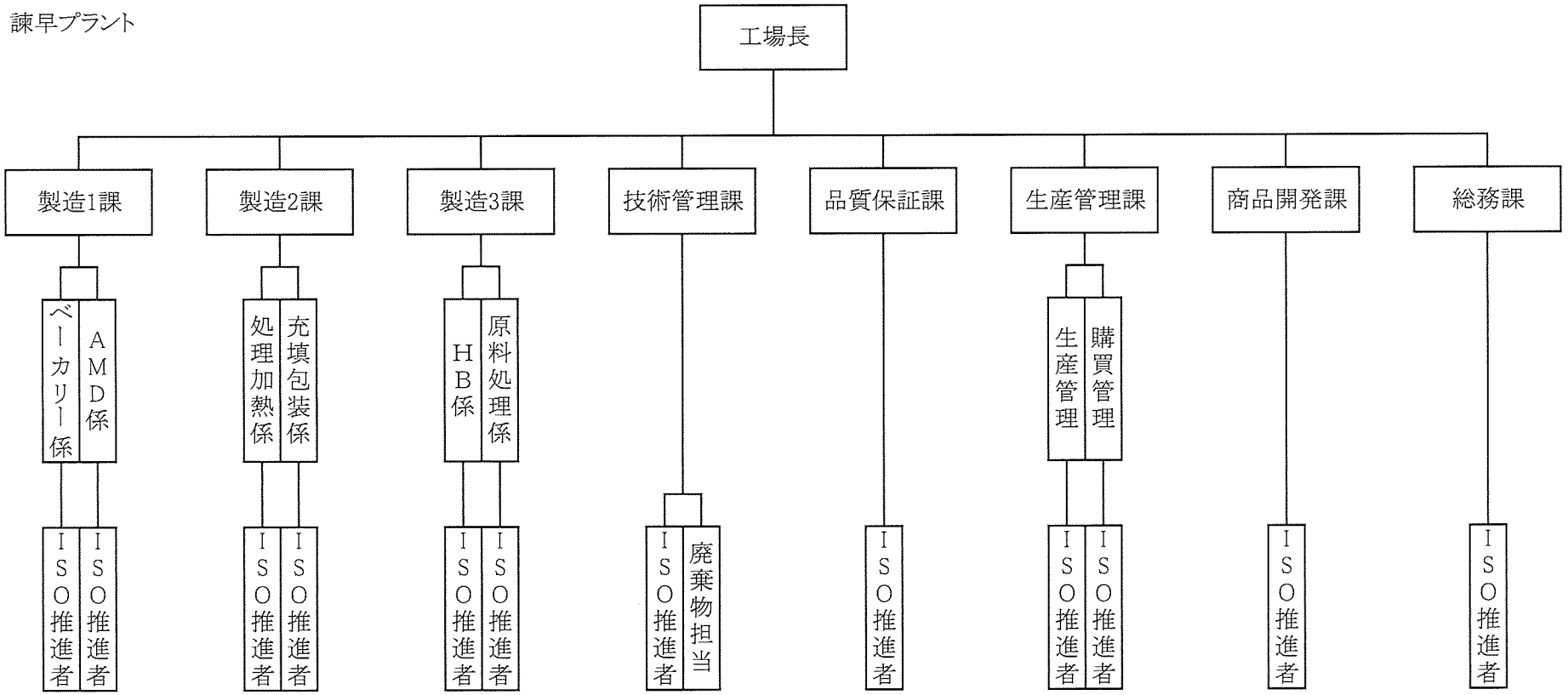
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

諫早プラント組織図

諫早プラント



管理体制(組織)

工場責任者: 日本ハム㈱諫早プラント 工場長 金山 幸子

廃棄物担当責任者: 技術管理課 課長 日野 直紀

技術管理課: 当工場の廃棄物の廃棄物処理業者への委託処理業務及び工場全体の廃棄物の適正処理を行うための運営と管理を行う。

各 部 署 : 廃棄物の排出の際は、分別を実施した後所定の廃棄物保管庫へ運搬する。

別紙

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

排出者の名称	日本ハム㈱諫早プラント　　工場長　金山　幸子	提出者の住所	長崎県諫早市船越町700
事業者の名称	日本ハム㈱諫早プラント　　工場長　金山　幸子	事業場の所在地	長崎県諫早市船越町700
内容年度	令和　6　年度		

（単位：トン）

廃棄物の種類	現状/計画	排出量	自社内での処理状況					委託先での処理状況				
									委託処理量のうち委託先毎の量			
			自己再生利用量	自己中間処理量	うち熱回収量	自己中間処理減量化量	自己最終処分量	全量委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
動植物性残渣	現状	934.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	934.0	0.0	934.0	0.0	934.0
	計画	825.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	825.8	0.0	825.8	0.0	825.8
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	現状	433.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	433.9	96.4	329.5	0.0	330.0
	計画	395.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	395.7	87.9	300.5	0.0	301.0
汚泥	現状	1,493.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,493.8	0.0	1,493.8	0.0	1,493.8
	計画	1,362.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,362.4	0.0	1,362.4	0.0	1,362.4
ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器ｸｽﾞ	現状	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	2.4	9.0	0.0	0.0
	計画	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2	2.2	8.2	0.0	0.0
金属ｸｽﾞ	現状	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	4.1	4.1	0.0	0.0
	計画	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0
特定有害産業廃棄物	現状	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計画	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	現状	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0
	計画	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0
廃油	現状	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	0.0	1.8
	計画	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	1.7
合計	現状	2,878.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,878.1	104.4	2,773.7	0.0	2,759.6
	計画	2,599.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,599.0	95.2	2,503.7	0.0	2,490.9

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年　 6 月　 20 日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者　　日本フードパッカー株式会社　諫早工場

住　所　 854-0022　長崎県諫早市幸町79-23

氏　名　　工場長　宮ノ原　裕史

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0957-22-1343

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本フードパッカー株式会社　諫早工場
事業場の所在地	長崎県諫早市79番23号
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	食肉処理業
②　事業の規模	前年度売上高　：　138億円
③　従業員数	193名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1　産業廃棄物処理工程

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添2　　産業廃棄物に係る管理体制

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　　令5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
	排　　出　　量_	2536.8　　t	t
	（これまでに実施した取組） 汚泥　：　工場用水節水。固形物、不純物の除去。汚泥脱水機のメンテナンス。汚水原水の低減等。 動植物性残渣　：　水分を出来るだけ切り排出。 廃プラスチック　：　可燃物との分別		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
	排　　出　　量_	2,505.8　　t	t
	（今後実施する予定の取組） 1頭当りの排出量を削減出来るように、現状の取り組みの維持と排水処理施設の管理徹底。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック　：　排出の際、分別用の収集缶を設置している為分別するように呼びかけ。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の取り組みを維持し金属とプラスチック類を出来るだけ分解し分ける。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　　令5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　　令5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	t
	（これまでに実施した取組） 自社にて中間処理は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	t
	（今後実施する予定の取組） 自社にて中間処理をする計画はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　　令5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0　t	t

（これまでに実施した取組）
自社で埋立処分又は、海洋投入を行う事はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別表内訳表	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	t

（今後実施する予定の取組）
今後も自社で埋立処分又は、海洋投入を行う事はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　　令5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
全処理委託量_	2,536.8　t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	1,995.9　t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	29.8　t	t

（これまでに実施した取組）
汚泥　：　発生量を抑制する為に、水分調整や排水処理施設の管理している。堆肥化にて処理をする業者を選定し委託している。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>別表内訳表</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td><td>2,505.8 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1,971.5 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>29.4 t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
汚泥　：　1頭当りの排出量を削減出来るように、今後も排水処理施設の性能維持に努め、発生汚泥の削減に努める。又、委託業者も堆肥化し再生利用を行う業者へ引き続き委託する。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

別添内訳書

単位(t)

廃棄物の種類			廃プラスチック類	金属くず	汚泥	汚泥(動物の糞尿)	廃アルカリ	動物系固形不要物	廃プラ(軍手・フィルムクズ等)	汚泥(無機性)				合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項														
	①現状(2023年度実績)	排出量	10.4	8.6	748.2	220.5	1,008.2	469.6	29.8	41.5				2,536.8
	②計画(2024年度計画)	排出量	10.3	8.5	739.0	217.8	995.9	463.9	29.4	41.0				2,505.8
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項														
	①現状(2023年度状況)	自ら再生利用を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
	②計画(2024年度計画)	自ら再生利用を行う量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項														
	①現状(2023年度状況)	自ら熱回収を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		自ら中間処理により減量する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
	②計画(2024年度計画)	自ら熱回収を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		自ら中間処理により減量する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分														
	①現状(2023年度状況)	自ら埋立処分を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
	②計画(2024年度計画)	自ら埋立処分を行う量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
	①現状(2023年度状況)	全処理委託量	10.4	8.6	748.2	220.5	1,008.2	469.6	29.8	41.5				2,536.8
		(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量**(23記入無)**	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		(内訳)再生処理業者へ処理を委託した量	10.4	8.6	748.2	220.5	1,008.2	0.0	0.0	0.0				1,995.9
		(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量**(23記入無)**	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.8	0.0				29.8
	②計画(2024年度計画)	全処理委託量	10.3	8.5	739.0	217.8	995.9	463.9	29.4	41.0				2,505.8
		(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		(内訳)再生利用業者へ委託を委託する量	10.3	8.5	739.0	217.8	995.9	0.0	0.0	0.0				1,971.5
		(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.4	0.0				29.4

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6年　6月　13日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者　日本フードパッカー㈱川棚工場
住　所　長崎県東彼杵郡川棚町百津郷39
氏　名　工場長　稲田　拓哉
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　（0956）82-4515

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本フードパッカー株式会社　川棚工場
事業場の所在地	長崎県東彼杵郡川棚町百津郷39番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食料品製造業
② 事業の規模	前年度売上高　97 億円
③ 従業員数	171 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1　産業廃棄物処理工程

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添２　産業廃棄物に係る管理体制

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（　令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表内訳表	
	排　　出　　量	2383.07ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 汚泥：場内節水・排水処理装置の散気筒交換・脱水助剤調整 廃プラスチック：包装機点検調整		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表内訳表	
	排　　出　　量	2335.41ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） ・脱水助剤調整		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 自販機紙コップ、空き缶、ペットボトル： 自販機の商品のゴミは業者へお持ち帰りして頂いている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の取組みの維持

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社にて再生利用は実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も自社にて再生利用を実施する予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社にて中間処理は実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も自社にて中間処理を実施する予定はない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社で埋め立て処分又は海洋投入は実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も自社で埋め立て処分、又は海洋投入を行う事はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙内訳表</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>2383.07ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>2328.17ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>54.90ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
汚泥：排水処理装置の維持管理の徹底。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙内訳表</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2335.41 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>2281.61 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>53.80 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
汚泥：今後も汚泥脱水装置・排水処理装置の維持管理に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

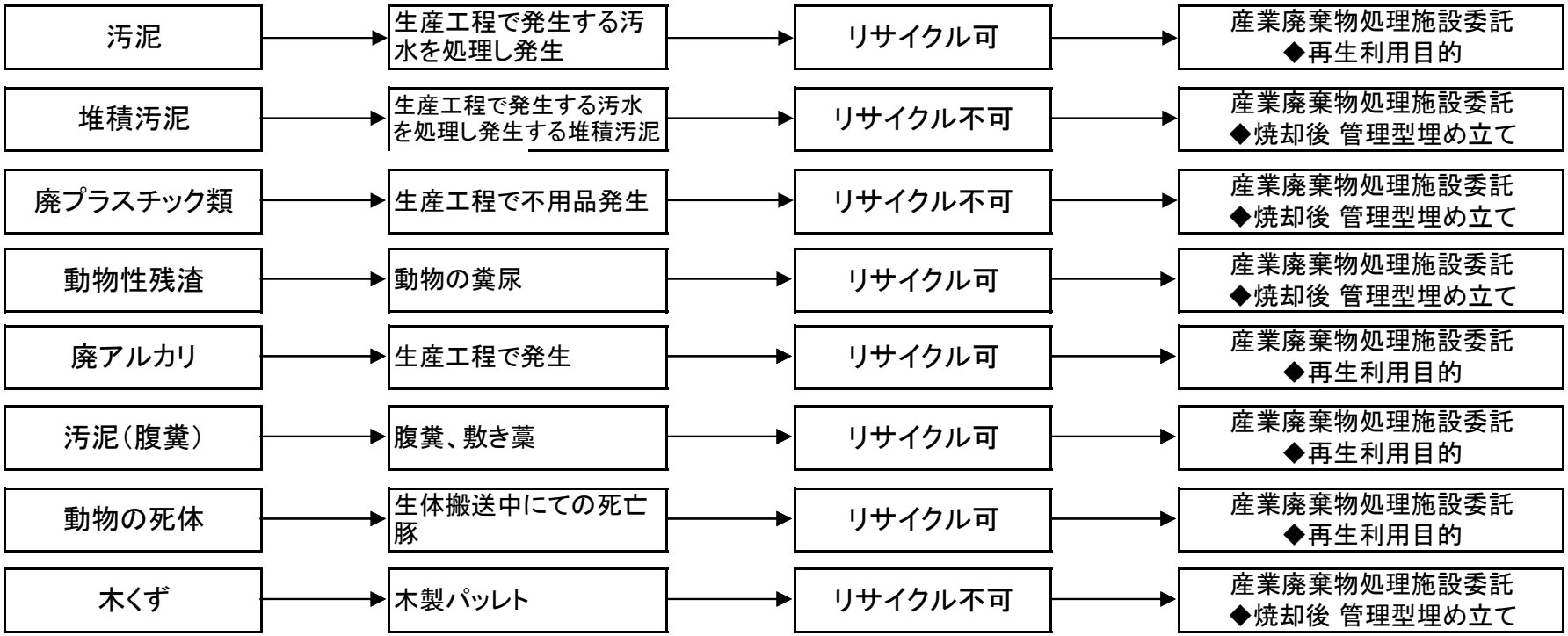
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

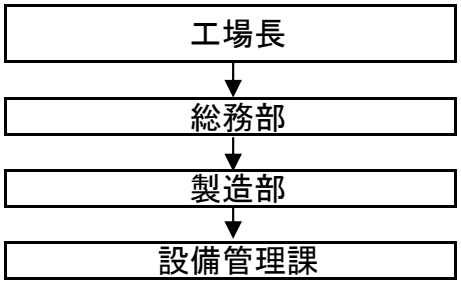
産業廃棄物処理工程

別表1



産業廃棄物処理工程

別表2



■廃棄物担当課
■処理計画作成担当

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書

別添内訳書

数字(t)

			汚泥	堆積汚泥	廃プラスチック	ガラス･陶器くず 金属くず (使用済蛍光管) 「水銀使用製品 産業廃棄物」	ガラス・陶器くず	動物性残渣	廃アルカリ	汚泥 (腹糞)	動物の死体	木くず	合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項													
	①現状(令和5年度実績)	排出量	1,072.97	10.40	30.10	0.00	0.00	12.75	1,122.06	117.04	16.100	1.65	2,383.07
	②計画(令和6年度計画)	排出量	1,051.51	10.19	29.50	0.00	0.00	12.50	1,099.62	114.70	15.778	1.62	2,335.41
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
	①現状(令和5年度実績)	排出量											0.00
	②計画(令和6年度計画)	排出量											0.00
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
	①現状(令和5年度実績)	自ら熱回収を行った量											0.00
		自ら中間処理により減量する量											0.00
	②計画(令和6年度計画)	自ら熱回収を行った量											0.00
		自ら中間処理により減量する量											0.00
自ら行う産業廃棄物の埋め立て処分													
	①現状(令和5年度実績)	自ら埋立処分を行った量											0.00
	②計画(令和6年度計画)	自ら埋立処分を行う量											0.00
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
	①現状(令和5年度実績)	全処理委託量	1,072.97	10.40	30.1	0.00	0.00	12.75	1,122.06	117.04	16.100	1.65	2,383.07
		(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量(22記入無)											0.00
		(内訳)再生処理業者へ処理を委託した量	1,072.97			0.00			1,122.06	117.04	16.100		2,328.17
		(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量(22記入無)											0.00
		(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量		10.40	30.10			12.75				1.65	54.90
	②計画(令和6年度計画)	全処理委託量	1,051.51	10.19	29.50	0.00	0.00	12.50	1,099.62	114.70	15.778	1.62	2,335.41
		(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量											0.00
		(内訳)再生処理業者へ処理を委託する量	1,051.51			0.00			1,099.62	114.70	15.778		2,281.61
		(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量											0.00
		(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量		10.19	29.50			12.50				1.62	53.80